

## 令和6年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

入学した生徒が、誇りをもって卒業できるよう、3年間充実した学校生活を送ることができる、自他ともに認める魅力ある学校

普通科・体育科、それぞれの学科の特色を活かしながら、学校行事や部活動、地域交流などの学校におけるすべての活動に積極的に参加し、それらを通して、実行力、判断力、自主性、協調性を備えた心技体のバランスの取れた人材の育成をめざす。

1. 学校行事や部活動を通して、リーダーを養成する。
2. ICT機器の活用など各教科において授業の創意工夫をし、コミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につける。
3. それぞれの学科の特色を活かした学びを通して、自覚と責任を身につけ、将来の目標設定につながるようキャリア教育を実践する。

## 2 中期的目標

## 1 「確かな学力」の育成と授業改善

(1)学習意欲・態度を養い、学力の定着と向上を図るため、教育環境を整えて指導・援助する。

(生徒向け学校教育自己診断において、「分かりやすい授業が多い」「授業に積極的に取り組んでいる」の回答をR8年度には共に80%以上とする)

「分かりやすい授業が多い」R3:64% R4:70.4% R5:72.1%、「授業に積極的に取り組んでいる」R3:79% R4:88.2% R5:89.6%

- ア 基礎・基本を定着させ、さらなる学力向上に向けて、教育力の向上をめざす。
- イ 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。
- ウ 各教科において、わかる授業の創意工夫や授業改善を積極的におこない、個に応じた学習指導の充実と授業の「質の向上」を通して生徒の学力の向上を図る。

(2)すべての教育活動を通して、生徒にコミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につけさせる。

- ア 全教科においてICTを活用した授業実践を積極的に進める。
- イ 基礎学力の定着と専門分野の技量の向上に向けて、主体的に学び、意欲的に達成しようとする姿勢を育成する。また、将来の目標を定め、自己実現に向けて持続的に努力できる生徒を育てる。
- ウ 物事に積極的に取り組む姿勢を育み、自分の将来の目標に向けて幅広い知識と教養を身につけさせる。
- エ 社会に通用するスペシャリストの育成をめざし、演習形式の授業展開を推進し、生徒のプレゼンテーション能力の向上をめざす。

(3)生徒の進路意識を高め、進路実現に向けて努力できる生徒を育てるとともに、キャリア教育の充実と進路指導体制の充実を図る。

(生徒向け学校教育自己診断において、「適切な進路情報」R8年度には85%以上をめざす R3:76% R4:81.3% R5:96.4%

「きめ細かな進路指導」R8年度には70%以上をめざす R3:59% R4:61.4% R5:74.3%

- ア 組織的・計画的にキャリア教育および進路指導に取り組み、生徒の進路意識を高め、個々の進路目標の実現を支援する。
- イ キャリア教育の充実に取り組み、自己実現に向けて、実践的な素養を養う。
- ウ 魅力ある専門学科として更なる発展を図る。

## 2 安全で安心な学びの場づくりと豊かでたくましい人間性のはぐくみ

(1)自主自律の態度を育成するとともに、自他を尊重できる心を養い、良好な人間関係の構築をめざす。

(生徒向け学校教育自己診断において、「本校に入学してよかった」の回答をR8年度には80%以上とする。また、「学校生活が充実している」の回答80%以上を維持する。)

「本校に入学してよかった」R3:65% R4:70.7% R5:78.8%、「学校生活が充実している」R3:88% R4:88.5% R5:93.1%

- ア 生徒が充実感、達成感を感じ成長できる生徒ファーストの学校運営をおこなう。
- イ 全教職員がカウンセリングマインドをもって生徒・保護者に対して丁寧な対応をおこない、生徒に寄り添った指導を粘り強くおこなう。
- ウ 生命や人権を大切にする精神を養い、生徒一人ひとりの人権意識の向上を図り、差別や偏見、いじめを許さない安心できる学校づくりをめざす。
- エ 障がいのある生徒の実態把握に努め、個々の教育的ニーズを検討し、合理的な配慮のもと必要な支援をおこない、環境整備に努める。

(2)基本的生活習慣を身につけるとともに、社会に役立つマナーへの意識を向上する。

- ア 基本的生活習慣を身につけ、安心・安全に学校生活を送れるように指導援助し、自立心を育む。
- イ 心身の自己管理をしっかりできるように指導し、学校の環境美化に取り組む態度を育成する。

(3)集団活動を通して、自主性や協調性を身につけ、集団の一員としての自覚を養う。

- ア 団活動・部活動・HR活動・学校行事を通して、生徒の積極性や自主性および協調性等を養う。また、これらの活動を通して、時代に沿ったリーダーの養成に努める。
- イ 個々の生徒がコミュニケーション能力、協調性や責任感、考える力を身につけ、物事を広い視野で見ることができる能力を育成するとともに、望ましい集団づくりをめざす。
- ウ 学校行事や学年行事を通じて、生徒が主体的に活動に取り組むことにより、積極性や協調性を身につけ、社会に貢献できる人材の育成をめざす。
- エ スポーツを通して自己の人間力を高めるとともに、集団活動を通してリーダーシップ、フォロワーシップを学び、専門学科としての自覚と責任感を身につけさせる。

## 3 学校の組織力向上と開かれた学校づくり

(1)地域に根づいた開かれた学校をめざし、他校種の学校園や地域との連携を充実させる。

- ア 地域との様々な関わりのなかで、地域に根づいた高校として、本校の魅力を積極的に情報発信する。
- イ 専門学科の特性を活かして、小中学校及び地域との連携を積極的に進め、生徒のリーダーシップ力と指導力を育む。

(2)教職員の共通理解のもと広報活動を充実させる。

- ア 本校の課題解決に向けて、全教職員が互いに問題提起、意見交換をおこなえる土壌をつくる。
- イ 計画的、組織的かつ積極的に広報活動に取り組み、学校PRにおいて、より一層の成果を上げ、本校の認知度の向上をめざす。

(3)健康で安心して働ける職場環境をつくり、汎愛高校の発展のために協働できる教職員集団をつくる。

- ア 教職員の健康の保持・増進のために、効率よい働き方を推進する。  
(令和8年度までに教職員の平均時間外勤務時間を年次減少させ、令和5年度比6%以上減とする。)(R5累計 46時間27分)
- イ 本校の現状把握および改善に至る具体的方策を検討する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析 [令和7年1月実施分]	学校運営協議会からの意見
<p>&lt;生徒&gt; ○結果 ●分析</p> <p>○「本校に入学してよかった」が、わずかに低下 (79%→76%)</p> <p>○「充実した学校生活を送っている」が、大きく低下 (92%→74.6%)</p> <p>○「学校行事が充実している」が、わずかに上昇 (93%→94%)</p> <p>○体育科実習では、3年生・1年生のキャンプ実習満足度100%、2年生水泳実習満足度90%と昨年度と同じ。</p> <p>○「授業以外でも学習に取り組んでいる」が、大きく上昇 (18.7%→38.3%)</p> <p>○「授業満足度」が、大きく低下 (72.1%→57.1%)</p> <p>●今までの授業内容と変わり、生徒に主体性を持たせる内容になって、戸惑いがあると考える。</p> <p>●主体性を持たせる授業内容を学び、家庭や自習室で学ぼうと意欲が出てきたと考える。</p> <p>●学校生活全般においては、行事・部活動・実習等において十分満足できている。</p> <p>○「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」が、上昇 (88%→90.4%)</p> <p>○「いじめや私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が、上昇 (67.8%→74.1%)</p> <p>●今年度、教育相談委員会を立ち上げ、就職者面談を組織的に行った結果であると考える。</p> <p>●生徒指導部や人権教育において、SNS等の指導や講習を実施した結果であると考える。</p> <p>&lt;保護者&gt; ○結果 ●分析</p> <p>○「本校に入学させてよかった」が、わずかに低下 (87%→85.3%)</p> <p>○「子どもは、学校に行くのを楽しみにしている」が、変わらず。 (84.6%→84.5%)</p> <p>○「子どもは、学校での授業の内容を理解している」が、低下 (73%→69.7%)</p> <p>○「学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。」が、低下 (57.9%→56.5%)</p> <p>○「学校は、保護者の相談に応じてくれている」が、上昇 (62%→67.8%)</p> <p>○「総合的にみて魅力的な学校である」が、低下 (82.2%→75.1%)</p> <p>●「本校に入学させてよかった」「学校に行くのを楽しみ」については、生徒の数値より高い。 家庭で子どもとの会話や様子を保護者が判断し、子どもが楽しい学校生活をおくれていると判断された結果と考える。</p> <p>●それ以外はある一定評価を得られていると考える。 日ごろから教員が、保護者と緻密にコミュニケーションを図っていることで、保護者も安心できていると考える。</p> <p>&lt;教職員&gt; ○結果 ●分析</p> <p>○「組織的に学校運営を行い、各分掌内および分掌間で連携を取りながら校務を行っている」が、低下 (62%→52.9%)</p> <p>○「教職員の共通理解のもと教育活動の改善に努めている」が、上昇 (56.7%→66.7%)</p> <p>○「外部との対応に、親切・丁寧で迅速に対応している」が、上昇 (64.8%→85.1%)</p> <p>●日ごろから教員が意識し、教員間でのコミュニケーションが取れてきた結果と考える また、普通科長・体育科長・各分掌主任・学年主任等の連携ができており、各部署での情報共有ができています。</p>	<p>第1回学校運営協議会 議事録</p> <p>1 日時 令和6年7月18日(木) 15:30 ~</p> <p>2 内容</p> <p>○本協議会の会長と副会長を選出。</p> <p>第1号議案 令和5年度 「学校経営計画・評価」について 令和6年度 「学校経営計画」(案)について</p> <p>&lt;事務局提案&gt;</p> <p>令和5年度 学校経営計画・評価について報告 令和6年度 学校経営計画(案)について報告 ⇒賛成4・反対0により可決</p> <p>第2号議案 令和6年度学校の概況について</p> <p>&lt;事務局報告&gt;</p> <p>・本年度の行事予定について ・各分掌主任と、各学年主任から今年度の目標について ・保護者からの意見書 教務部 生徒指導部(含 特別活動) 保健教育部 総務部 図書視聴覚部 第3学年 第2学年 第1学年 体育科及び普通科の取組み ・保護者からの意見書</p> <p>&lt;質問・ご意見等&gt;</p> <p>・学校の取組みを聞いていて、中学校も同様だと感じた。この地域は、幼小中高がひとつの区画にまとまっていることから、地域として動くことができる場所だと思う。汎愛高校も、幼稚園や小学校での取組みをされていると聞き、中高の連携もしたいと感じている。 また、汎愛の生徒も、朝、挨拶すると元気よく返してくれる。この地域では、小学生も中学生も高校生も元気よく挨拶から始まる朝が気持ちいいと思うので、今後も良い習慣は続けたい。</p> <p>・汎愛高校の主体は生徒であり、一番楽しみにしている汎愛祭を、今後も盛り上げてほしい。学年をまたいで活動しているからこそ、そこから養われるものは大きいと感じている。</p> <p>・保護者の気持ちになって考えると、笑顔のたえない学校生活を送ってほしい。先生方にも、そのような学校にしてほしいと願う。</p> <p>・いつもホームページを拝見しているが、行事の写真などをみると、雰囲気がいいと感じる。おそらく、中学生もホームページはよく見ていると思うので、積極的にホームページを更新し、作成してほしい。学校の様子を知ることができる場というのも大切である。</p> <p>・教員の働き方改革で、時間外勤務を縮減させていく中で、部活動指導が時間外勤務縮減の邪魔をしているのではないかと感じている。 ⇒部活動指導に外部指導者を導入、または複数の教員で日々役割を分担しながら縮減を進めている。</p> <p>第2回学校運営協議会 議事録</p> <p>1 日時 令和6年12月13日(金) 15:00 ~</p> <p>2 内容</p> <p>第1号議案 令和6年度 「学校経営計画」進捗状況について</p> <p>&lt;事務局提案&gt;</p> <p>学校経営計画進捗状況について報告</p> <p>第2号議案 令和6年度学校の概況について</p> <p>&lt;事務局報告&gt;</p> <p>・各分掌主任と、各学年主任から今年度の現状について 教務部 生徒指導部(含 特別活動) 保健教育部 総務部 図書視聴覚部 第3学年 第2学年 第1学年 体育科及び普通科の取組み</p> <p>&lt;質問・ご意見等&gt;</p> <p>・生徒指導に関して、遅刻数が昨年度に比べて増えているようだが、年間の遅刻数に比べて多いのか少ないのか、また、その理由等もしっかり分析してほしい。</p> <p>・SNSの知識に対する教育が必要だと感じる。警察と連携して、研修等をしてはどうか。</p>

- 「教え方を工夫し、授業がわかりやすくなるように努力している」が、低下 (97.3%→94.1%)
- 「ICTを活用した授業を意識している」が、上昇 (72.9%→79.4%)
- 「いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる」が、上昇 (86.4%→85.3%)

- 教員間の授業見学等の成果である。引き続き教員の授業力アップにつなげていく。
- 担任をはじめ各教科担当者等、全教員で生徒を見守り、指導できていることで、いじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。また、教育相談委員会を立ち上げ充実を図る。

- ・先生たちの時間外勤務が増えると、健康にも影響がでてくるし、それが生徒たちへも影響してくると思う。
- 先生たちの残業については、難しい面もある。学校を早く閉めてしまうことで、生徒との関りが少なくなるという可能性もある。生徒に寄り添った指導をするなかで、さらに時間外を少なくする工夫をしていただければと思う。
- ・中学校でも、さまざまな生徒との関わりの中で、個別に対応する場面が増えている。生徒一人ひとりとの関わりを考える中で、どのようにサポートしていくかが課題となっている。高校でも、そのような対応をしていただいていると感じた。
- ・自転車のヘルメットの着用がほとんどないという状況は、なんとかしないといけないと思う。自転車のマナー指導と同時にヘルメットに関する指導もしてほしい。
- ・普通科が次年度からクラス減になるということで、特別活動、特に汎愛祭の運営が大変になってくると思う。しかし、生徒が楽しみにしている行事なのでクオリティを保ってほしいと思う。
- ・各部署からの話を直接伺うことで、実際にどのように学校で取り組んでいるのかがよくわかった。いい取組みをしている中で、アピールできるところはどんどんアピールしていったらいい、汎愛高校の良い点を伸ばしていったらいい。

### 第3回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和7年2月3日(火) 16:00 ~

2 内容

第1号議案 令和6年度 「学校経営計画・評価」(案)について  
令和7年度 「学校経営計画」(案)について

<事務局提案>

令和6年度 学校経営計画・評価(案)について報告

令和7年度 学校経営計画(案)について報告

⇒賛成4・反対0により、可決

第2号議案 令和6年度学校の総括及び来年度について

<事務局報告>

・各分掌主任と、各学年主任から今年度の総括及び来年度について

教務部 生徒指導部(含 特別活動) 保健教育部 総務部 図書視聴覚部

第3学年 第2学年 第1学年 体育科・普通科の総括及び来年度について

<質問・ご意見等>

- ・学校説明会など、熱心に広報をしている。説明会の参加者も、以前に見たときにはたくさん来ていたように思われる。PTA としても、学校説明会や広報活動に協力できることがあれば、ぜひ協力したい。
- ・看護医療コースができて、そこからの進学実績ができてきていることは、喜ばしいことであるが、中学3年生の希望調査で受験希望者が少ないのが気になる。学校としての特徴を活かしきれていないのではないのか。学校説明会などの広報活動にもっと手を加えていく必要があるのではないかと感じられる。来年度に向けて、学校の特徴をもっとよくアピールするなどの工夫を考えてほしい。
- ・「手引き講習会」の取組みは素晴らしいが。今後は視覚障がいでなく、聴覚障がいに関係する手話の講習などをしてほしいと思う。
- ・今後、魅力ある学校づくりをつくっていく中で、今までの常識にとらわれることなく、考えてほしい。
- ・学校の魅力のひとつに施設設備もあると思う。トイレや食堂など、子どもたちが普段使うところは、きれいなものであってほしいと思う。費用等がかかることはわかるが、今後、検討してほしい。
- ・全体的に、学校として取り組んでいる状況がよくわかった。ぜひとも、地域にも愛される汎愛高校であってほしい。

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標[R5年度値]	自己評価					
1 確かな学力の育成と授業改善	<p>(1) 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。</p> <p>ア 基礎・基本を定着させ、さらなる学力向上に向けて、教育力の向上をめざす。</p> <p>イ 学習態度・意欲を育み、自ら進んで学習する習慣を身につけ、自己実現していく態度を育成する。</p> <p>ウ 各教科において、わかる授業の創意工夫や授業改善を積極的におこない、個に応じた学習指導の充実と授業の「質の向上」を通して生徒の学力の向上を図る。</p> <p>(2) すべての教育活動を通して、生徒にコミュニケーション能力、思考力、判断力、表現力を身につけさせる。</p>	<p>ア・年2回の公開授業期間において他の教員の授業見学を行い、自らの授業改善・授業力向上を図る。</p> <p>イ・生徒の学ぶ意識・姿勢の向上のため、チャイムと同時に始業の挨拶をすることを周知、徹底する。</p> <p>・家庭学習のための課題等を提示することで、授業以外での学習習慣を定着させる。</p> <p>・令和4年度以降の入学生のカリキュラムについて、より生徒の実態に合うように、教務部・カリキュラム委員会で状況の分析を行い、必要に応じて改善を図る。</p> <p>ウ 教科としての目標を設定し、指導方法の改善を常に図り、生徒の学力向上に結び付ける。そのため、教科会を定期的に関き、指導法や評価法について意見交換を行い、職員研修等で情報共有をする。</p>	<p>ア・授業見学を年間4回以上行う教員を80%以上。 [95%]</p> <p>イ・生徒向け自己診断において、「私は始業のベルが鳴ると、教室で着席している」の項目で肯定的評価85%以上。[92%]</p> <p>・生徒向け自己診断で、「授業以外でも学習に取り組んでいる」の項目で昨年度の水準を上回る。 [18.7%]</p> <p>・生徒向け自己診断において、「本校は生徒の進路希望に応じた多様な選択科目が設定されている」の項目で、肯定的評価75%以上を維持する。[83%]</p> <p>ウ・生徒向け自己診断において「分かりやすい授業が多い」の項目で、肯定的評価を75%以上とする。 [72.1%]</p>	<p>ア・授業見学を4回以上行った教員は96%。100%をめざす。(○)</p> <p>イ・「私は始業のベルが鳴ると、教室で着席している」が96.1%と昨年度より上がった。(◎)</p> <p>・「授業以外でも学習に取り組んでいる」が38.3%と昨年度より上がった。(○)</p> <p>・「本校は生徒の進路希望に応じた多様な選択科目が設定されている」が80.8%と昨年度より少し下がったが目標は達成している。(○)</p> <p>ウ・「授業満足度」が、57.1%と昨年度より大幅に下がった。(△)</p>					
	<p>ア 全教科において ICT を活用した授業実践を積極的に進める。</p> <p>イ 基礎学力の定着と専門分野の技量の向上に向けて、主体的に学び、意欲的に達成しようとする姿勢を育成する。また、将来の目標を定め、自己実現に向けて持続的に努力できる生徒を育てる。</p> <p>ウ 物事に積極的に取り組む姿勢を育み、自分の将来の目標に向けて幅広い知識と教養を身につけさせる。</p>	<p>ア・ICT を活用した実践事例を増やし、教員間で授業活用の情報を共有できるようにする。</p> <p>イ・体育科のコース制授業スタートにおいて、ゼミ形式の演習授業を展開する。「スポーツ」を多角的な視点から考察できるように指導するとともに、1年間の学びの振り返りとしてプレゼンテーションの機会を設ける。</p> <p>ウ・体育科の特色ある教育活動を通して、自己の将来の目標を定め、卒業後の自己実現に向けて努力する生徒を育てる。</p>	<p>ア・教員の実践報告を、授業公開期間に合わせて年間10回実施する。[14回]</p> <p>イ・卒業論文において、質の高い論文を作成し、全生徒がプレゼンテーションソフトを使用した質の高い発表を実施する。</p> <p>ウ・高大連携授業を各各コース年間5回、計15回以上実施。[22回]</p>	<p>ア・武道コース・アスリートコース・健康スポーツコースで15回実施。(○)</p> <p>イ・3年生のみ発表を実施した。(△)</p> <p>ウ・22回実施。(○)</p> <table border="1" data-bbox="1428 2611 1785 2730"> <tr> <td>アスリートコース</td> <td>8回</td> </tr> <tr> <td>健康スポーツコース</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>武道コース</td> <td>4回</td> </tr> </table>	アスリートコース	8回	健康スポーツコース	10回	武道コース
アスリートコース	8回								
健康スポーツコース	10回								
武道コース	4回								

<p>エ 社会に通用するスペシャリストの育成をめざし、演習形式の授業展開を推進し、生徒のプレゼンテーション能力の向上をめざす。</p> <p>(3) 生徒の進路意識を高め、進路実現に向けて努力できる生徒を育てるとともに、キャリア教育の充実と進路指導体制の充実を図る。</p> <p>ア 組織的・計画的にキャリア教育および進路指導に取り組み、生徒の進路意識を高め、個々の進路目標の実現を支援する。</p> <p>イ キャリア教育の充実に取り組み、自己実現に向けて、実践的な素養を養う。</p> <p>ウ 魅力ある専門学科として更なる発展を図る。</p>	<p>エ・専門学科の各行事・実習において、達成感・充実感を得られるようにとともに、生徒主体で企画・運営を行い、全員がリーダーシップとフォロワーシップを意識した実習になるよう指導する。</p> <p>ア・進学意識を高めるとともに、公務員講座への参加を促し、進路意識の向上につなげる。</p> <p>・看護医療コース(R6年度普通科3年)の内容充実を図るために、高大連携により早期の意識付けを図る。</p> <p>イ・図書館の活用をさらに進め、自習教室・面接指導の場として卒業後の進路向けの学習センターとして機能させ、生徒の自主的・自立性の育成のための学びの場として位置付ける。</p> <p>ウ 新たなカリキュラムを確実に運用し、コース制の意義を活かした教育活動をおこなう。</p>	<p>エ・各種実習や授業におけるアンケートを実施し、リーダーシップ等に関する項目における満足度80%以上。</p> <p>[3年生 キャンプ実習 100% 2年生 水泳実習 90% 3年生 卒業論文 100%]</p> <p>ア・公務員採用試験における合格者を60%以上とする。</p> <p>[50%] (3月10日現在)</p> <p>・看護医療に係る高大連携授業を、年間3回実施する。[3回]</p> <p>イ・図書館開館日数、図書貸し出し数において、R5年度水準を維持する。</p> <p>[196日 976冊] (3月1日現在)</p> <p>ウ・各コースの新規授業について、生徒の満足度が80%以上を維持する。</p> <p>[100%]</p>	<p>エ・3年生 キャンプ実習 100% 2年生 水泳実習 90% 3年生 卒業論文 100% (○)</p> <p>ア・合格率は52% (△)</p> <p>・看護医療に係る高大連携授業を、年間3回実施(○) 2年生2回、1年生1回。</p> <p>イ・図書館の利用状況 【来館者数】4,491名 (授業利用を除く) 【貸出冊数】639冊 来館者数は、昨年度実績を大きく上回った。 (○)</p> <p>ウ・各コースの新規授業について、生徒の満足度は100%。(◎)</p>
<p>2 安全で安心な学びの場づくりと豊かでたくましい人間性のはぐくみ</p> <p>(1) 自主自律の態度を育成するとともに、自他を尊重できる心を養い、良好な人間関係の構築をめざす。</p> <p>ア 生徒が充実感、達成感を感じ成長できる生徒ファーストの学校運営をおこなう。</p> <p>イ 全教職員がカウンセリングマインドをもって生徒・保護者に対して丁寧な対応をおこない、生徒に寄り添った指導を粘り強くおこなう。</p> <p>ウ 生命や人権を大切にす精神を養い、生徒一人ひとりの人権意識の向上を図り、差別や偏見、いじめを許さない安心できる学校づくりをめざす。</p>	<p>ア・登校指導を全教職員で実施し、挨拶や身だしなみを整えることができるよう指導援助し、また集団生活におけるルールを守る態度を育て、生徒会とも連携しながら生徒の規範意識を高める。</p> <p>イ・教育相談体制を整え、より一層生徒が相談しやすい環境づくりをおこなう。また、必要に応じて、SCやSSWを活用し、より生徒に寄り添った指導ができるようにする。</p> <p>ウ・情報モラル講習会を通して、生徒自ら情報がモラルを守ることが出来る正しい知識を身につける。また、SNSの取り扱いについても細心の注意を払い自らが加害者になることのないよう情報セキュリティの意識向上に努める。</p> <p>・いじめの未然防止に向け、生徒への講話を通じて人権意識を向上させる。いじめアンケートを通していじめの実態把握・早期発見に努めるとともに、あらゆる差別問題が重大な人権侵害であることを確認し、人権に関して理解を深める。また、生徒に「命の大切さ」を実感させ、「生きる」ことの意味を一人ひとりが考えることができる研修会を実施する。</p>	<p>ア・生徒向け自己診断で「あいさつができる」「本校に入学してよかった」「学校生活が充実している」の回答を全て80%以上。</p> <p>[90%, 79%, 93%]</p> <p>イ・生徒向け自己診断で「本校には親身に相談に乗ってくれる先生がいる」の回答が60%以上。</p> <p>[68%]</p> <p>ウ・SNSに関する研修会を年間2回実施。[2回]</p> <p>・生徒向け自己診断で「私はまわりのひとに思いやりをもって接している」の回答90%以上を維持。</p> <p>[97%]</p>	<p>ア・「あいさつができる」が90.5%、「本校に入学してよかった」が76%、「学校行事が充実している」が94%と、昨年と同じである。(△)</p> <p>イ・「本校には親身に相談に乗ってくれる先生がいる」が、74.1%と上がった。(◎)</p> <p>ウ・計画通り2回実施。(○)</p> <p>・「私はまわりのひとに思いやりをもって接している」が、94.7%と下がったが目標設定には達した。(○)</p>

	<p>(2) 基本的な生活習慣を身につけるとともに、社会に役立つマナーへの意識を向上する。</p> <p>ア 基本的な生活習慣を身につけ、安心・安全に学校生活を送れるように指導援助し、自立心を育む。</p> <p>イ 心身の自己管理をしっかりできるように指導し、学校の環境美化に取り組む態度を育成する。</p> <p>(3) 集団活動を通して、自主性や協調性を身につけ、集団の一員としての自覚を養う。</p> <p>ア 団活動・部活動・HR活動・学校行事を通して、生徒の積極性や自主性および協調性等を養う。また、これらの活動を通して、時代に沿ったリーダーの養成に努める。</p> <p>イ 個々の生徒がコミュニケーション能力、協調性や責任感、考える力を身につけ、物事を広い視野で見ることが出来る能力を育成するとともに、望ましい集団づくりをめざす。</p>	<p>ア・基本的な生活習慣の確立を促し、年間5回の遅刻防止強化週間を設けるとともに、年間を通して特別な理由のない遅刻者の減少に取り組む。</p> <p>イ・健診等を通じて生徒の健康管理意識を向上させるとともに、自ら積極的に自分の体について管理・理解させるように指導する。</p> <p>ア・生徒会活動の充実を図り、計画的に会議の運営と広報活動に努め、生徒の主体的な行事となるよう指導する。</p> <p>イ・団活動を行うことで、学年相互の人間関係の築き、生徒間の相互理解を深める。また、年間の活動を通して、生徒自らが考え行動する姿勢を養う。</p>	<p>ア・年間遅刻数の延べ人数を昨年度より減少させる。 [1,160]</p> <p>イ・健診で受診勧告を受けた生徒の40%以上が事後処置を行う。 [39.4%]</p> <p>ア・生徒議会の内容を精査し年間4回以上計画的に実施。 [4回]</p> <p>イ・生徒向け自己診断における肯定的な回答が80%以上。 [84%]</p>	<p>ア・年間遅刻総数は1,068件。(△)</p> <p>イ・健診で受診勧告を受けた生徒の内、事後処置を行ったのが35.9%で達成されていない(△)</p> <p>ア・生徒議会を4回実施した。(○)</p> <p>・「本校は生徒会活動が活発で学校行事が充実している」が94.6%。(◎)</p>
3 学校 の 組 織 力 向 上 と 開 か れ た 学 校 づ く り	<p>(1) 地域に根づいた開かれた学校をめざし、他校種の学校園や地域との連携を充実させる。</p> <p>ア 地域との様々な関わりのなかで、地域に根づいた高校として、本校の魅力を積極的に情報発信する。</p> <p>イ 専門学科の特性を活かして、小中学校及び地域との連携を積極的に進め、生徒のリーダーシップ力と指導力を育む。</p> <p>(2) 教職員の共通理解のもと広報活動を充実させる。</p> <p>ア 本校の課題解決に向けて、全教職員が互いに問題提起、意見交換をおこなえる土壌をつくる。</p>	<p>ア・地域連携や校種間連携を通じて、生徒の社会性や能力を伸ばす。また、HPにより本校の魅力・さまざまな取組みを発信する。</p> <p>イ・親子武道教室の開催や鶴見区民まつりへの協力を通して地域との連携を深める。また、生徒主体のイベントにすることで、生徒のリーダーシップやフォロワーシップを養う。</p> <p>ア・学校運営上の課題解決に向けて、各分掌、委員会のつながりを強化する。</p>	<p>ア・HPの閲覧数について令和5年度水準を維持する。 [180回/日] (3月8日現在)</p> <p>イ・「積極的に取り組めた」と回答する生徒が80%以上。 [100%]</p> <p>ア・教職員向け自己診断の「分掌内、分掌間で連携をとっている」の項目で肯定的評価を70%以上。 [62%]</p>	<p>ア・HPの閲覧が185回/日。(○)</p> <p>イ・各地域行事において、「積極的に取り組めた」が100%。(◎)</p> <p>ア・「分掌内、分掌間で連携をとっている」が、52.9%と下がった(△)</p>

<p>イ 計画的、組織的かつ積極的に広報活動に取り組み、学校 PR において、より一層の成果を上げ、本校の認知度の向上をめざす。</p> <p>(3)健康で安心して働ける職場環境をつくり、汎愛高校の発展のために協働できる教職員集団をつくる。</p> <p>ア 教職員の健康の保持・増進のために、効率よい働き方を推進する。</p> <p>イ 本校の現状把握および改善に至る具体的方策を検討する。</p>	<p>イ・学校説明会・教員対象説明会・体験入学を継続して行い、本校へ来校する中学生・保護者の人数を確保する。</p> <p>ア 安全衛生委員会を中心に、教職員の健康状態並びに勤務状態を把握するとともに環境整備に取り組み、全教職員が健康で良好な職場環境で勤務できるようにする。 また、「大阪府における部活動等の在り方に関する方針」に則り、部活動顧問が過度な負担にならないよう取り組んでいく。</p> <p>イ 学校全体の現状把握および改善に至る具体的方策を検討し、各部や学年と連携して教育活動の推進を図る。</p>	<p>イ・参加する生徒保護者数が昨年度を上回る。 [学校説明会 916 名 体験入学 607 名]</p> <p>ア 長時間勤務対象者の減少。1月までの平均時間外勤務時間を 50 時間以内、かつ 80 時間超教員の割合が昨年度水準を下回る。 [46 時間 27 分、21.5%]</p> <p>イ 教職員向け自己診断の「教職員の共通理解のもと教育活動の改善に努める」が、70%以上。 [59%]</p>	<p>イ・学校説明会 726 名 体験入学 434 名 (△)</p> <p>ア・教職員全体の平均時間外勤務が 42 時間 14 分、80 時間超の教員の割合は 15.2%。(○)</p> <p>イ・「教職員の共通理解のもと教育活動の改善に努める」が、66.7%と達成できていない。(△)</p>
--	--	---	--